



第3回常任理事会

日時 令和元年5月14日(火) 18:00～18:40
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事
 (事務局：安達局長ほか11名)

協議事項

第1号 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦に関する件(橋本常任理事)

関係都市医師会、専門医会から推薦のあった診療担当者代表50名(委嘱時の年齢70歳未満)を、支払基金支部長に推薦することと決定。任期は令和元年6月1日から令和3年5月31日の2年間。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座24件を承認することと決定。

報告事項

1. 外部各委員会報告

(1) 北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会[5月8日(水)]について(藤井常任理事)

昨年度活動実績の報告後、本年度の業務内容について協議を行い、より詳細な課題の背景・要因を具体的に把握するため調査を実施することとし、地域センター病院等に優先して出向き、ヒアリング調査をして支援することが提案された。意見交換では、民間病院の方が現場での問題が多いため、調査対象を民間病院まで広げよう希望が出された。

(2) 女性アスリート健康サポート北海道設立理事会および設立総会[5月8日(水)]について

(長瀬会長)

女性アスリート(学生、社会人、一般スポーツ愛好者から第一線の選手を含む)の抱える女子・女性に特有の生理的・病理的問題やそれに関連した食事等の問題について支援すること

で、日常生活、競技生活、引退後や競技復帰、さらには中高年期以降の運動習慣、生活習慣や関連した疾患の予防など、広く女性の健康維持、促進に寄与することを目的に組織化の準備を進めてきた女性アスリート健康サポート北海道が設立された。会長に小職、副会長には北海道産婦人科医会・晴山会長が選出された後、事業計画案、予算案などを協議した。

2. その他

(1) 選挙管理委員会委員の変更について

(三戸常任理事)

中央ブロックおよび医育ブロックより選出されている標記委員につき、変更があったことを報告した。

(2) 事務局の人事異動について(三戸常任理事)

6月1日付けの事務局人事について承認した。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 地域医療専門委員会 第1回在宅医療小委員会[5月9日(木)]について(伊藤常任理事)

北海道における各職種ごとのデータを基に在宅医療の現状について報告があり、2023年度に向けた在宅医療の推進方針(案)について了承された。また、在宅医療の提供体制を考える際の地域単位の設定については、21の二次医療圏より小さく、179の一次医療圏より大きい、40圏域とすることで了承された。今後、さまざまなデータを分析・活用し在宅医療を推進することを確認した。

第4回常任理事会

日時 令和元年5月20日(月) 18:00～18:51
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・櫻井・青木各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事
 (事務局：安達局長ほか13名)

協議事項

第1号 平成30年度決算に関する件(北野常任理事)

平成30年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の説明と、併せて監事より内部・外部監査報告を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第2号 平成30年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(三戸常任理事)

当会は一般社団法人として、北海道公益認定等審議会が確定した当会の公益目的財産額の支出が完了するまでは各事業年度の決算時に公益目的支出計画実施報告書を作成し北海道に提出する必要がある。平成30年度も実施報告書を北海道に提出することを提案通り決定。

第3号 第154回定時代議員会ならびに第155回臨時議員会〔6月15日(土)・16日(日)〕の開催に関する件(三戸常任理事)

6月15日(土)に第154回定時代議員会を、6月16日(日)に第155回臨時議員会を北海道医師会館8階会議室において開催すること、また、その提出議題を決定。

第4号 令和元年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、「事前確定届出給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第5号 第2回理事会〔5月25日(土)〕の議案に関する件(三戸常任理事)

5月25日(土)午後4時から札幌グランドホテルにおいて、第2回理事会を開催すること、また、その提出議題を決定。

報告事項

1. 監査報告(内部:藤瀬監事、外部:篠島監事)協議事項第1号と併せて報告。
2. その他

(1) 選挙管理委員会委員の変更について

(三戸常任理事)

後志ブロックより選出されている標記委員につき、変更があったことを報告した。

第2回理事会

日時 令和元年5月25日(土) 16:00～17:50
場所 札幌グランドホテル 2階「グランドホール西」

出席者 長瀬会長、深澤副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・岡部・伊藤・後藤・笹本・青木各常任理事、野呂・恩村・沖・文屋・山下・今野・稲葉・久島各理事、津田・藤瀬両監事、本間議長、稲川副議長
(日医オブザーバー) 今代議員、城裁定委員、上埜委員
(事務局:安達事務局長ほか15名)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

(1) 監査報告(内部:藤瀬監事、外部:津田監事)協議事項第1号と併せて報告。

(2) 日医理事会報告(長瀬会長)

第21回地域医療構想に関するワーキンググループの件、第1回医道審議会医師分科会医師専門研修部会の件、中医協の件等の報告があった。また事前の理事打合せにおいて、旧優生保護法

一時金支給法施行に当たっての厚生労働省から医療機関への協力依頼事項について、研修医会員の会費減免申請について、厚生労働科研応招義務に関する研究班報告書案についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(3) 日医各委員会報告

1) 医師会将来ビジョン委員会〔4月6日(土)〕について(上埜日医委員)

会長諮問に関し、日本経済団体連合会より「Society 5.0 - ともに創造する未来 -」のプレゼンテーションがあった。それによるとSociety 5.0とは、狩猟・農耕・工業・情報社会に続く第5段階目の社会として提唱されており、IoT、AI、ロボット、ブロックチェーン等分散台帳技術など、社会が変化する大きなきっかけとしてデジタル革新の波が押し寄せており、それらを利用してどのような社会を創っていききたいのかが重要であるとの説明があった。その後、グループディスカッションを行った。

2) 救急災害医療対策委員会〔4月18日(木)〕について(目黒常任理事)

現在、約28,500名が救急救命士の資格を有しているが、このうち約10,000名が救急救命士としての役割を担っていないことから、病院前だけではなく、病院内でも救急救命士が活動できるような法的整備が必要であること等が報告された。その後、各ワーキンググループから会長諮問の協議経過報告があり、フリートーキングを行った。

3) 医師の働き方検討委員会〔4月25日(木)〕について(藤井常任理事)

厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会の報告書に基づき、やむを得ず960時間を超えざるを得ない、地域医療確保暫定特例水準(B水準)医療機関の条件として、都道府県知事が地域医療の確保のために必要と認める医療機関等が示された。また、昨年度末に取りまとめた「勤務医の環境改善と地域医療を守るために 地域医療の現況調査ならびに世代間ギャップ・アンケートの結果から」の報告を行った。

4) 医師会共同利用施設検討委員会〔5月10日(金)〕について(伊藤常任理事)

働き方改革関連法施行(時間外労働の上限規制、年5日の年次有給休暇の取得等)に伴う医師会共同利用施設における問題点とその対応策について協議を行った。

5) 労災・自賠責委員会〔5月17日(金)〕について(深澤副会長)

厚生労働省労働基準局と意見交換を行い、

高齢労働者の私病の取扱い方等について、現状の取り組みや考え方を確認し、労災独自の診療報酬体系の構築に向けた検討を行うよう要望した。また、会計検査院の指摘により廃止を含めた検討を求められている労災治療計画加算について、厚生労働省としてどのような対応を検討しているか確認を行った。なお、次回は日本損害保険協会および損害保険料率算出機構との意見交換を行う予定である。

6) 地域包括ケア推進委員会 [5月17日(金)] について (水谷常任理事)

埼玉県立大学・田中理事長からテーマ「2040年多元的社會における地域包括ケアシステム」により講演があった。次いで、日医・江澤常任理事より外部審議会などの審議状況に関して「介護政策の最新動向について」の報告があった後、意見交換を行った。

7) 外国人医療対策委員会 [5月23日(木)] について (伊藤常任理事)

会長諮問「地域医療における外国人医療提供体制のあり方」に対する中間答申について協議を行った。

(4) その他

1) 選挙管理委員会委員の変更について

(三戸常任理事)

中央ブロック、後志ブロック、医育ブロックより選出されている標記委員につき、変更があったことを報告した。

2) 事務局の人事異動について (三戸常任理事)

6月1日付けの事務局人事について報告した。

3) 北海道医学大会第100回記念大会検討委員会 (仮称) について (青木常任理事)

2020年10月3日(土)に開催予定の北海道医学大会が、100回という大きな節目を迎えることから、学術部では、記念大会として3大学と当会、札幌市医師会で構成する委員会を設置し別途協議することとした。また、今後10年を見据え、第100回大会の開催にあたり全体のプログラムや分科会抄録集など大会誌のオンライン化等について検討するため、オンライン検討委員会を立ち上げたことを報告した。

4. 承認事項

(1) 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦について (橋本常任理事)

関係郡市医師会、専門医会から推薦のあった診療担当者代表50名(委嘱時の年齢70歳未満)を、支払基金支部長に推薦することと決定。任期は令和元年6月1日から令和3年5月31日の2年間。

(2) 外部各委員会等委員の推薦について

(三戸常任理事)

4月20日(土)開催の理事会以降推薦依頼のあ

った、北海道保健福祉部所管の北海道アレルギー疾患医療連絡協議会委員に三戸常任理事を推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成30年度決算に関する件(北野常任理事)

平成30年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の説明と、併せて監事より内部・外部監査報告を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第2号 北海道医師会職員貸付金の利率に関する件 (三戸常任理事)

当会は一般社団法人として、北海道公益認定等審議会が確定した当会の公益目的財産額の支出が完了するまでは各事業年度の決算時に公益目的支出計画実施報告書を作成し北海道に提出する必要がある。平成30年度も実施報告書を北海道に提出することを提案通り決定。

第3号 令和元年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件 (北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、事前確定届出給与に関する届出書を税務署に提出することと決定。

第4号 第154回定時代議員会ならびに第155回臨時代議員会 [6月15日(土)・16日(日)] の開催に関する件 (三戸常任理事)

6月15日(土)に第154回定時代議員会を、6月16日(日)に第155回臨時代議員会を当会館8階会議室において開催すること、また、その提出議題を決定。

第5号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項 (深澤副会長)

第1回理事会(4/20)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

第5回常任理事会

日時 令和元年5月28日(火) 18:00~19:20

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事

(事務局:安達局長ほか11名)

協議事項

第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座16件を承認。

第2号 第1回郡市医師会長協議会[6月1日(土)]の議題に関する件 (三戸常任理事)

6月1日(土)午後4時から当会館において開催する、第1回都市医師会長協議会の提出議題を決定。

第3号 その他

(1) 6月行事予定表に関する件(事務局)

報告事項

1. 北海道小児救急医療地域研修事業協議会[5月16日(木)]について(目黒常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で今年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域の開催日程ならびに研修内容を決定した。なお、各会場とも講師2名による2時間30分の研修とするが、札幌会場のみ、昨年度同様、3時間の研修を実施することとした。また、今年度から本研修会受講者全員に修了証を交付することとなった。

2. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会[5月17日(金)・日医]について(藤井常任理事)

全国医師会勤務医部会連絡協議会について、昨年度担当の長崎県医師会からの報告ならびに今年度開催の山形県医師会から概要についての説明を受けた。協議では「医師の働き方改革について」「勤務医の医師会入会への動機を喚起するための方策について」-特に、若手医師を対象に-をテーマに4名から話題提供があった。後者では小職から「次世代育成に向けた北海道医師会の取り組み-若手医師の活躍の場の作り方-」と題し、当会の10年間の取り組みを報告した。参加者は98名であった。

3. 第25回日本保育保健学会[5月18日(土)~19日(日)・神戸市]について(後藤常任理事)

「守ろう 育てよう 子どもは未来のメッセージ」をメインテーマに開催され、会頭講演、基調講演のほか、4つの教育講演、2つのシンポジウム等が行われた。次回は来年5月23日(土)、24日(日)に山口県下関市で開催予定である。

4. 第1回都道府県医師会長協議会[5月21日(火)]について(深澤副会長)

事前に提出された議題に対して日医担当役員より回答の後、質疑応答が行われ、最後に日医提出議題の説明が行われた。主な議題は、外来医療計画の策定について、厚生労働省主導の新たなシーリングについて、へき地医療における医師の確保について、行政提出文書のIT化について、医療介護人材確保のために有料職業紹介業者へ支払う紹介手数料について、これからの我が国におけるタバコ対策について、第8回日本医師会赤ひび大賞推薦依頼についてであった。

5. 第92回日本産業衛生学会[5月22日(水)~25日(土)・名古屋市]について(生駒常任理事)

「現場への貢献!~人・企業・社会を支える~」をメインテーマに開催された。4日目のメインシンポジウムでは「働き方改革が労働者へもたらす影響」をテーマに、労働組合の立場から見た働き方改革、企業側からの取り組み、実験室での模擬的長時間労働

後の循環器への負担調査結果、産業疲労研究の視点から考えるフレキシブルな働き方の是非等について4名の演者から発表があった後、改正労働安全衛生法について特別講演が行われた。

6. 外部各委員会報告

(1) 第1回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会及び第1回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会[5月20日(月)]について

(小熊副会長)

両委員会メンバーが重複しているため、合同開催となった。地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会では医師確保策定スケジュールに則り、目標医師数を達成するための施策について検討することを確認した。また、地域枠医師キャリア形成支援検討委員会では、効果的な配置方法、地域医療への貢献とキャリア形成の両立、取得可能な資格の明示などについて、地域枠医師の配置の考え方を見直していくことを確認し、併せて年度内に素案を策定するため検討する予定である。

(2) 北海道たばこ対策連絡協議会[5月22日(水)]について(後藤常任理事)

本協議会に参画している10団体からたばこ対策の取り組み状況について報告があったほか、北海道禁煙フォーラムと連携して6月1日(土)札幌駅前通地下広場チ・カ・ホで開催する北海道禁煙週間実行委員会イベントについて説明、協力依頼があった。

(3) 北海道災害派遣精神医療チーム(DPAT) 検討会議[5月17日(金)]について(目黒常任理事)

北海道DPAT活動マニュアルの作成に向けて案が示され意見交換を行ったほか、統括者の基本的な考え方やDPATの編成に関して協議した。次回は人材育成に向けた研修会等について議論する予定である。

(4) 北海道ドクターヘリ安全管理委員会[5月20日(月)]について(目黒常任理事)

北海道内のドクターヘリ4基地病院合同の会議体として設置された標記委員会が初めて開催された。北海道におけるドクターヘリの安全な運用・運航のための基準(案)、運用手順書(案)、安全教育等に関して協議した。なお、インシデント・アクシデント情報については、各基地病院が責任をもって収集・分析することとなった。

(5) 北海道小児在宅医療推進協議会[5月24日(金)]について(三戸常任理事)

昨年度に北海道が実施した、小児科を標榜する病院に係る小児科医師数等調査の結果報告があった。その後、北海道小児在宅医療連携拠点事業の実施結果をもとに、今年度の取り組みに対する方向性について協議した。